

旧広島陸軍被服支廠の活用を考える ワークショップ <第4回>

2022年8月27日（土）

★ワークショップの概要

ワークショップの内容 (予定)

済

第1回

- ・まず,検討スタート!話してみましよう
- ・被服支廠のことを知りましよう
- ・被服支廠について,参加者の今の考えを集めてみましよう

済

第2回

- ・各種団体や先生など,いろいろな方々の話を聞いてみましよう
- ・活用にあたって,大切にしたい考え方(大きい方針)を話し合ってみましよう

3月26日現地見学

済

第3回

- ・活用方策のアイデアをいろいろな視点から出してみましよう

第4回

- ・「活用し続けるために必要なこと」について,考えてみましよう

本日

第5回

- ・懇談会のメンバーとの意見交換など,ワークショップの結果を振り返り,広く発信していきましよう

本日のタイムスケジュール

時間	内容	
13:00～13:02	あいさつ	
13:02～13:05	本日のワークショップの流れ	
13:05～13:15	これまでの経緯の説明	
13:15～13:25	ワークショップの進め方(全体説明)	
13:25～14:50	ワークショップ	ワークショップの進め方(個別説明)
		「活用し続けるために必要なこと」に関する議論
14:50～15:15	話し合いの結果の共有(発表)	
15:15～15:20	まとめ	
15:20～15:25	あいさつ・閉会	

◎状況に応じて変更する可能性があります

★これまでの検討について

第1回	ワークショップ	2022.1.30
第2回	ワークショップ	2022.3.13
大規模	ワークショップ	2022.4.17
第3回	ワークショップ	2022.6.11

旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ

【Newsletter Vol.1（2022年2月発行）】

第1回 ワークショップ

日時：2022年1月30日（日）13:00～15:30

場所：Zoomオンライン

参加者：45名

ワークショップの目的

本ワークショップでは、様々な世代の方々にご参加いただき、被服支廠の活用に向けて、何を大事に考えていききたい？、どんな活用のアイデアがある？といったご意見を広く集めていきます。

その結果は、旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会に提示しながら、「活用の方向性」の取りまとめに活かしていきます。

ワークショップのスケジュール

第1回

- ・ 検討スタート！まずは話してみましょう
- ・ 被服支廠のことを知みましょう
- ・ 被服支廠について、参加者の今の考えを集めてみましょう

今回の
ワークショップ

第2～3回

- ・ 各種団体など、いろいろな人の話を聞いてみましょう
- ・ 活用にあたって大事にすべき視点（大きな方針）などを話し合ってみましょう

第3～4回

- ・ 活用方策のアイデアを、いろいろな視点から出してみましょう

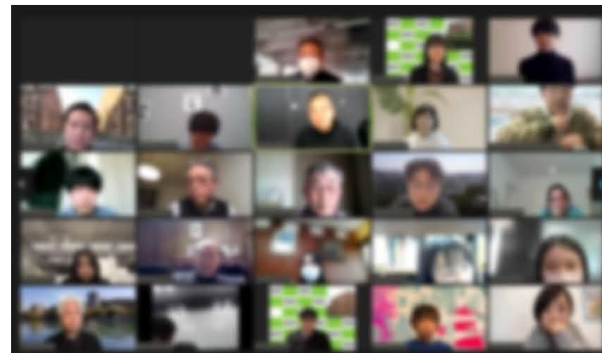
第5回

- ・ ワークショップの結果を振り返り、広く発信していきましょう

今回はこんな内容でした！

①Zoomによるワークショップにチャレンジしました！

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対面での実施が困難になったため、オンラインにてワークショップを実施しました。



②アーキワーク広島 代表 高田さんにご講演いただきました！

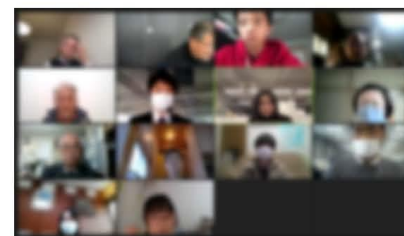
被服支廠とはどんな施設なのか、どんな魅力を秘めているのか、参加者の皆様に知っていただくため、アーキワーク広島の高田さんにご講演いただきました。

1. 被服支廠とは？
～その歴史経緯～



③参加者には自己紹介と、被服支廠に対する思い・アイデアを語っていただきました！

ワークショップでは4つのグループに分かれて、被服支廠の未来を考える仲間として、お互いの理解を深めながら被服支廠について語っていただきました。



旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ

【Newsletter Vol.2（2022年4月発行）】

第2回 ワークショップ

日時：2022年3月13日（日）13:00～15:30

場所：広島県自治会館会議室・Zoomオンライン

参加者：38名

ワークショップの目的

本ワークショップでは、様々な世代の方々にご参加いただき、被服支廠の活用に向けて、何を大事に考えていきたい？、どんな活用のアイデアがある？といったご意見を広く集めていきます。

その結果は、旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会に提示しながら、「活用の方向性」の取りまとめに活かしていきます。

ワークショップのスケジュール

第1回

- ・ 検討スタート！まずは話してみましょう
- ・ 被服支廠のことを知みましょう
- ・ 被服支廠について、参加者の今の考えを集めてみましょう

第2～3回

- ・ 各種団体など、いろいろな人の話を聞いてみましょう
- ・ 活用にあたって大事にすべき視点（大きな方針）などを話し合ってみましょう

今回の
ワークショップ

第3～4回

- ・ 活用方策のアイデアを、いろんな視点から出してみましょう

第5回

- ・ ワークショップの結果を振り返り、広く発信していきましょう

今回はこんな内容でした！

①キーパーソンヒアリングとして3名の方にご講演いただきました！

被服支廠活用の考え方について、様々な立場の方のご意見をお伺いするため、NPO法人ひろしまインターネット美術館 積山さん、旧被服支廠の保全を願う懇談会 多賀さん、株式会社JizoHat ポールさんにご講演いただきました。



▲積山さん



▲多賀さん



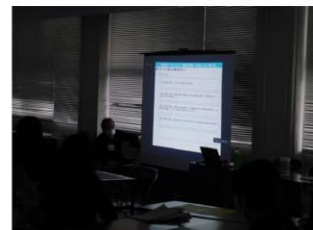
▲ポールさん

②参加者の皆様で、被服支廠を活用するうえで「大切にしたい考え方」を話し合いました！

ワークショップは現地・オンラインを併用し、計6つのグループに分かれて実施しました。第1回ワークショップから、場所の持つポテンシャルや皆さんの大切にしたい考え方を抽出した連想マップを使用し、被服支廠活用にあたって、特に大切にしていきたい考え方を話し合いました。



▲ワークショップの様子(現地)



▲成果発表の様子(オンライン)



▲講評

旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ

【大規模ワークショップ結果報告（2022年6月発行）】

日時：2022年4月17日（日）14:00～16:00
場所：広島県健康福祉センター大研修室・Zoom
オンライン
参加者：98名

大規模ワークショップとは？

被服支廠の利活用に向けた意見やアイデアを幅広く聴取するために実施しました！

旧広島陸軍被服支廠の活用に向けた意見やアイデアを幅広くお聞きすることを目的に実施しました。当日は、現地とオンライン合わせて98名もの方にご参加いただきました。

意見やアイデアを幅広くお聞きする場としては、大規模ワークショップと並行して、ワークショップ（50人規模）を開催しています。

今回の結果は、ワークショップの結果と併せて、被服支廠の活用の方向性の検討に活かしていきます。

こんな内容でした！

被服支廠の活用にあたって大切にしたい考え方から、具体的な活用アイデアまで、多様な意見をいただきました！

大規模ワークショップは現地・オンラインを併用し、計12のグループに分かれて実施しました。活用にあたっての意見やアイデアを付箋やチャットに書き込んでいただき、ファシリテーター（進行役）が中心となって、意見を取りまとめていきました。

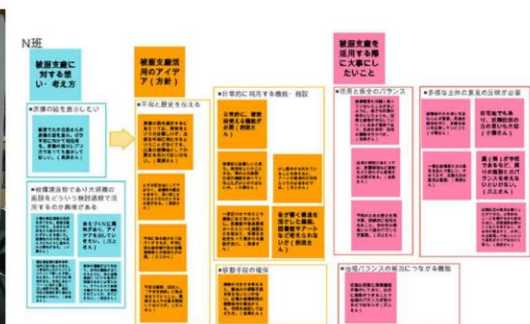
活用にあたって大切にしたい考え方や理念、解決すべき課題、活用の方向性、具体的な活用アイデアまで、多様な意見を出していただきました。



▲大規模ワークショップの様子



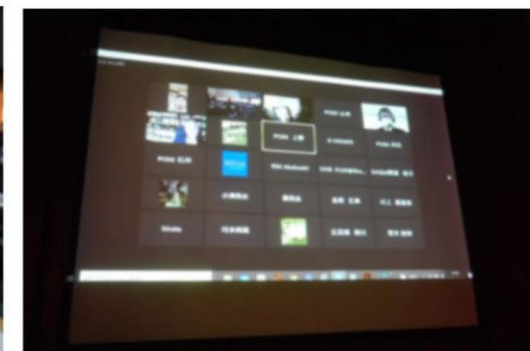
▲ワークシート



▲ワークシート（オンライン）



▲成果発表の様子



▲成果発表の様子（オンライン）

旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ

【Newsletter Vol.3（2022年7月発行）】

第3回 ワークショップ

日時：2022年6月11日（土）13:00～16:00

場所：広島県自治会館会議室・Zoomオンライン

参加者：31名

ワークショップの目的

本ワークショップでは、様々な世代の方々にご参加いただき、被服支廠の活用に向けて、何を大事に考えていきたい？、どんな活用のアイデアがある？といったご意見を広く集めていきます。

その結果は、旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会に提示しながら、「活用の方向性」の取りまとめに活かしていきます。

ワークショップのスケジュール

第1回

- ・検討スタート！まずは話してみましょう
- ・被服支廠のことを知りましょう
- ・被服支廠について、参加者の今の考えを集めてみましょう

第2回

- ・各種団体など、いろいろな人の話を聞いてみましょう
- ・活用にあたって大事にすべき視点（大きな方針）などを話し合ってみましょう

第3回

- ・活用方策のアイデアをいろいろな視点から出してみましょう

第4回

- ・活用の実践に向けた体制などについて、考えてみましょう（案）

第5回

- ・懇談会のメンバーとの意見交換など、ワークショップの結果を振り返り、広く発信していきましょう

今回の
ワークショップ

今回はこんな内容でした！

①キーパーソンヒアリングとして佐久間さんにご講演いただきました！

被服支廠活用の考え方について、広島県原爆被害者団体協議会理事長 佐久間 邦彦 さんにご講演いただきました。



◀ご講演の様子

②これまでの意見を基に、被服支廠の「活用のアイデア」を話し合いました！

議論の時間を約2時間たっぷりと設け、第1～2回ワークショップでの意見を整理した「基本的な考え方(案)」を踏まえ、テーマ（活用の可能性）ごとに被服支廠の活用アイデアを話し合いました。



▲当日の成果



▲ワークショップの様子(現地)



▲成果発表の様子(左：現地 右：オンライン)



県民が集う場

～日常的に憩い、集える空間として使うことができる～

- 近隣の住民が交流し自発的に使用できる、スモールオフィスやサテライトオフィス
- コミュニティ・交流の場として、地域住民や中高生が頻繁に利用できるカフェ
- 世代を超えて日常的に利用出来る、子ども向けの学童保育や児童館、高齢者向けのデイサービス施設等の複合施設
- 県民や市民が行きたくくなるような、職業体験や牡蠣づくり・もみじ饅頭づくり体験施設
- 開架式で平和に関する本を自由に読むことができ、子どもの頃から足を運ぶことが出来る平和の拠点としての図書館

学び・発信の場

～平和・広島（被服支廠）の歴史を学び、継承し、世界に伝えることができる～

- 平和の発信拠点として原爆や戦争に関する資料を展示した平和資料館や映像ギャラリー
- 原爆に関する文学・映画・絵本等の作品が展示されている文学館
- アートに親和性のある被服支廠の歴史・建築構造を活かした、貸しギャラリー等のアート・デザインの発信施設
- 県内学生が利用できるITラボや高校生のコンペ・パフォーマンスの場といった、未来に向けて新しい価値を生み出す学習・研究施設

創造の場

～多様な価値観で創作・表現活動ができる～

- 世界中のアーティストや子どもが気軽に集まる開かれた場所として、音楽や演劇などのイベントを開催するホールや公園
- 被服支廠自体が建築的な価値があることから着想した、建築系の学生が集えるサテライトキャンパス、建築に関連したギャラリー
- 地元アーティストが頻繁に通ったり、アーティスト・イン・レジデンス活動を行う、アトリエやギャラリー等の文化発信施設
- 県民が劇団四季を鑑賞したり、劇団の稽古場や高校生の文化祭として使用できる劇場

おもてなしの場

～広島を訪れた人をもてなすことができる～

- 国内外の観光客と市民が交流できる合宿所・ユースホステル等の宿泊施設
- 国際平和をテーマとした会議で使用する、被服支廠の広い空間を活かした会議室
- 来訪者へのおもてなし、子どもの思い出作りや体験が出来る、広島ならではのものづくり体験施設
- 平和学習や被爆建物に興味のない人でも気軽に立ち寄れるような、宇品や島の特産品といったここでしか買えないものがあるマルシェやキッチンカーの出店

その他

- レンタサイクルとセットにしたピースツーリズムや、周辺の戦跡と連携してダークツーリズムを企画する
- 商店街を中心とした地域住民のニーズ把握や連携を行い、周辺との繋がりを生む仕掛けを創出する
- 観光バス用の車線整備や交通アクセスの強化、駐車場の整備等を実施する
- まずはそのままの空間で出来ることから(実証実験レベルから)、スモールスタートで始める

被服支廠の活用に関する“基本的な考え方”

ワークショップのご意見を踏まえ、懇談会で議論した結果

「みんなで守り・育て続ける」 被服支廠 ～時・人・場所をつなぐ～

育てる

将来にわたって⇒様々な種を時代の変化に即しながら育てていく

活用の可能性

【種（機能）】

集つ・交流	①県民が日常的に集う 日常的に憩い、集える空間として使うことができる図書館や多目的ルーム、アーバンスポーツ施設等
	②県民と来訪者が交流する 県民・来訪者ともに気軽に立ち寄り、交流することができるマルシェや公園・広場、観光センター等
学ぶ・体験	③広島歴史・平等について学び、体験する 広島歴史や自然、平和、被服支廠の建築的な価値等を学び、継承する資料館・博物館、それを活かした体験をすることができる様々なツーリズムの拠点等
	④多世代がつながる 多様な世代が交流しながら学び、様々な活動に利用できるサテライトキャンパスやボランティアの拠点等
創造・発信	⑤創作・表現・発表する 多様な価値観で創作・表現活動、発表ができるアトリエや展示施設、イベントホール、劇場、AI・IT産業の拠点等
	⑥世界とつながる 国内外の人々が被服支廠の建物を通じて平和の大切さや歴史文化など様々なストーリーを感じることができる宿泊施設やコンベンション施設等

活用し続けるために必要なこと

【木を育てるための水・光・空気・養分】

- 存在・価値を共有・広める
 - 被服支廠の存在が県民の宝であることを共有し、広めていく
- 協働で取り組む
 - 活用方法に応じた多様な人・主体（行政・団体・民間事業者・個人）の参画、関与の仕組みをつくる
 - 周辺地域との関わりを増やし被服支廠とともにまちを育てていく
- 時代に合った環境・空間を創る
 - 交通網など被服支廠の活用を進める上での訪れやすい環境を整える
 - 被服支廠の空間や、時代の変化に対応した設備を整備していく

対象とする範囲

・4棟（県管理3棟+国管理1棟+その周辺の空地）を対象とし、複合的な利用を想定する
⇒被服支廠のももとの敷地、その周辺、広島市内、広島県内、さらに全国・海外とのつながりも意識

活用によって得られるもの

【果実】

唯一のもの・オリジナルなもの
県民の誇りを醸成
・子どもたちの笑顔、創造的な人材、人との繋がり等



守る

将来にわたって⇒「被服支廠の存在を活かしていく」
「被服支廠の価値を継承していく」
「歴史と平和の大切さを伝えていく」

★ワークショップ

「みんなで守り・育て続ける」 被服支廠 ～時・人・場所をつなぐ～

育てる

将来にわたって⇒様々な種を時代の変化に即しながら育てていく

対象とする範囲

- ・ 4棟（県管理3棟+国管理1棟+その周辺の空地）を対象とし、複合的な利用を想定する
- ⇒被服支廠のもととの敷地、その周辺、広島市内、広島県内、さらに全国・海外とのつながりも意識

活用の可能性

【種（機能）】

- 集う・交流**
 - ①県民が日常的に集う
日常的に憩い、集える空間として使うことができる図書館や多目的ルーム、アーバンスポーツ施設等
 - ②県民と来訪者が交流する
県民・来訪者ともに気軽に立ち寄り、交流することができるマルシェや公園・広場、観光センター等
- 学ぶ・体験**
 - ③広島歴史・平等について学び、体験する
広島歴史や自然、平和、被服支廠の建築的な価値等を学び、継承する資料館・博物館、それを活かした体験をすることができる様々なツーリズムの拠点等
 - ④多世代がつながる
多様な世代が交流しながら学び、様々な活動に利用できるサテライトキャンパスやボランティアの拠点等
- 創造・発信**
 - ⑤創作・表現・発表する
多様な価値観で創作・表現活動、発表ができるアトリエや展示施設、イベントホール、劇場、AI・IT産業の拠点等
 - ⑥世界とつながる
国内外の人々が被服支廠の建物を通じて平和の大切さや歴史文化など様々なストーリーを感じることができる宿泊施設やコンベンション施設等

活用し続けるために必要なこと

【木を育てるための水・光・空気・養分】

- 存在・価値を共有・広める**
 - ・ 被服支廠の存在が県民の宝であることを共有し、広めていく
- 協働で取り組む**
 - ・ 活用方法に応じた多様な人・主体（行政・団体・民間事業者・個人）の参画、関与の仕組みをつくる
 - ・ 周辺地域との関わりを増やし被服支廠とともにまちを育てていく
- 時代に合った環境・空間を創る**
 - ・ 交通網など被服支廠の活用を進める上での訪れやすい環境を整える
 - ・ 被服支廠の空間や、時代の変化に対応した設備を整備していく

ワークA

ワークB

活用によって得られるもの

【果実】

- 唯一のもの・オリジナルなもの
- 県民の誇りを醸成
- ・ 子どもたちの笑顔、創造的な人材、人と人の繋がり等

今回は、この部分について、意見をお聞きしたいと考えています。

前回のワークショップでいただいたアイデア等から、まとめ直しました。

守る

将来にわたって⇒「被服支廠の存在を活かしていく」
 「被服支廠の価値を継承していく」
 「歴史と平和の大切さを伝えていく」

今日は, こんなワークをします!!!

- “基本的な考え方”の“**活用し続けるために必要なこと**”に関して, 意見交換を行います

テーマ

活用するためにやることは何？

～これから何ができる？～

■意見交換にあたって【ワークA】

○ 活用の前提として, “被服支廠の存在・価値を共有・広める”
というアクションも重要

→ **被服支廠の存在・価値を共有・広めるために(今から)で
きることを考える【ワークA】**

→ **“誰が何をする”といったことが重要
(メリット・デメリットも想像しながら考えてみてください)**

■意見交換にあたって【ワークB】

◎ これまで頂いたアイデアのように、活用の方法は様々に考えられます。その実現のために何が必要でしょうか？

○ 活用を進めるには役割分担が重要（行政・団体・民間事業者・個人）

○ 安全対策や活用にあたっては、財源が必要（行政の予算化や民間事業者・個人からの寄付など）

→ **活用に向けて必要なこと、やれることを考える【ワークB】**

→ 切り口は、例えば、体制、ひとつづくり、財源の確保などでしょうか

→ 一つの活用の種（機能）だけで考えず、いずれの種（機能）においても共通して必要なことを考えてみましょう

→ “誰が何を”と**いったことが重要**
（メリット・デメリットも想像しながら考えてみてください）

■意見交換にあたって【各ワーク共通】

- あわせて“皆さんご自身ができそうなこと”についてのご意見もおねがいします
- 数年・数十年後，時代の変化に応じて変化していくためのアクションも重要ですが…
 - 今回の議論は“これからできること”に絞って考える

活用し続けるために必要なこと【木を育てるための水・光・空気・養分】



【ワークA】（30分）
被服支廠の存在・価値を共有・広めるために
（今から）できることを考える

【ワークB】（50分）
活用に向けて必要なこと， やれることを考える

※被服支廠の活用を進めていくために皆さん自身ができそうなことを是非、考えてみてください。

1. 取り組みについて（誰が，何を）付箋（水色）に意見を書いていく
2. 取り組みに対して「自身でできそうなこと」を付箋(ピンク)に書いていく
3. 近い意見や共通する項目をグルーピングする
4. その他留意すべき事項は付箋（黄色）に意見を書いていく

誰が，何を
する

自分ができる
こと

その他

活用し続けるために必要なこと【木を育てるための水・光・空気・養分】



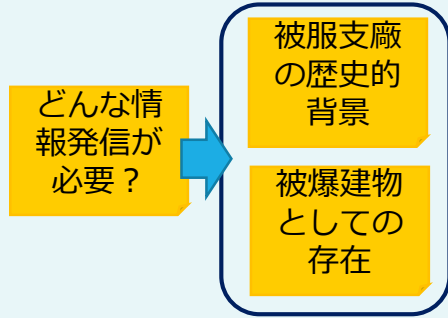
A 被服支廠の存在価値を共有, 広めるために今からできることは？

例：

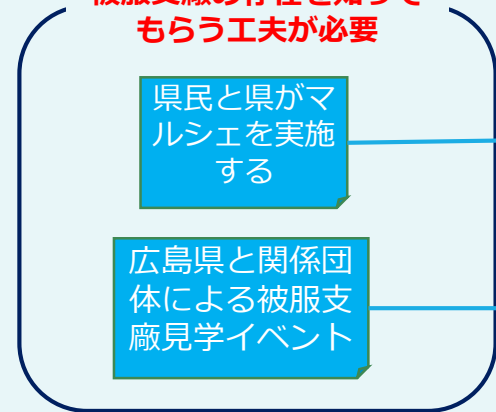
<必要なこと>

<誰がする？どのようにする？>

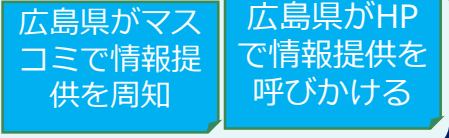
被服支廠を知ってもらう情報
発信が必要



被服支廠の存在を知ってもらう工夫が必要

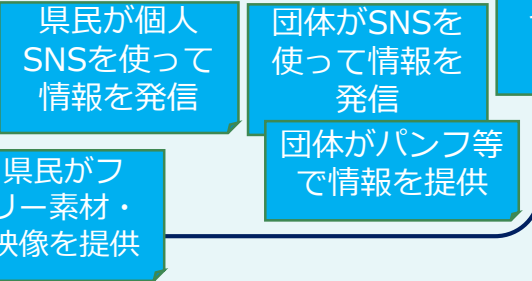


情報提供を呼びかける



情報収集したものは県よりHP等を活用して情報発信

情報を発信する



影響力のある人インフルエンサーに依頼

広島県が被服支廠でのイベント開催日を決めて市民に開放

マルシェの経験があり、企画・運営を担当することができる

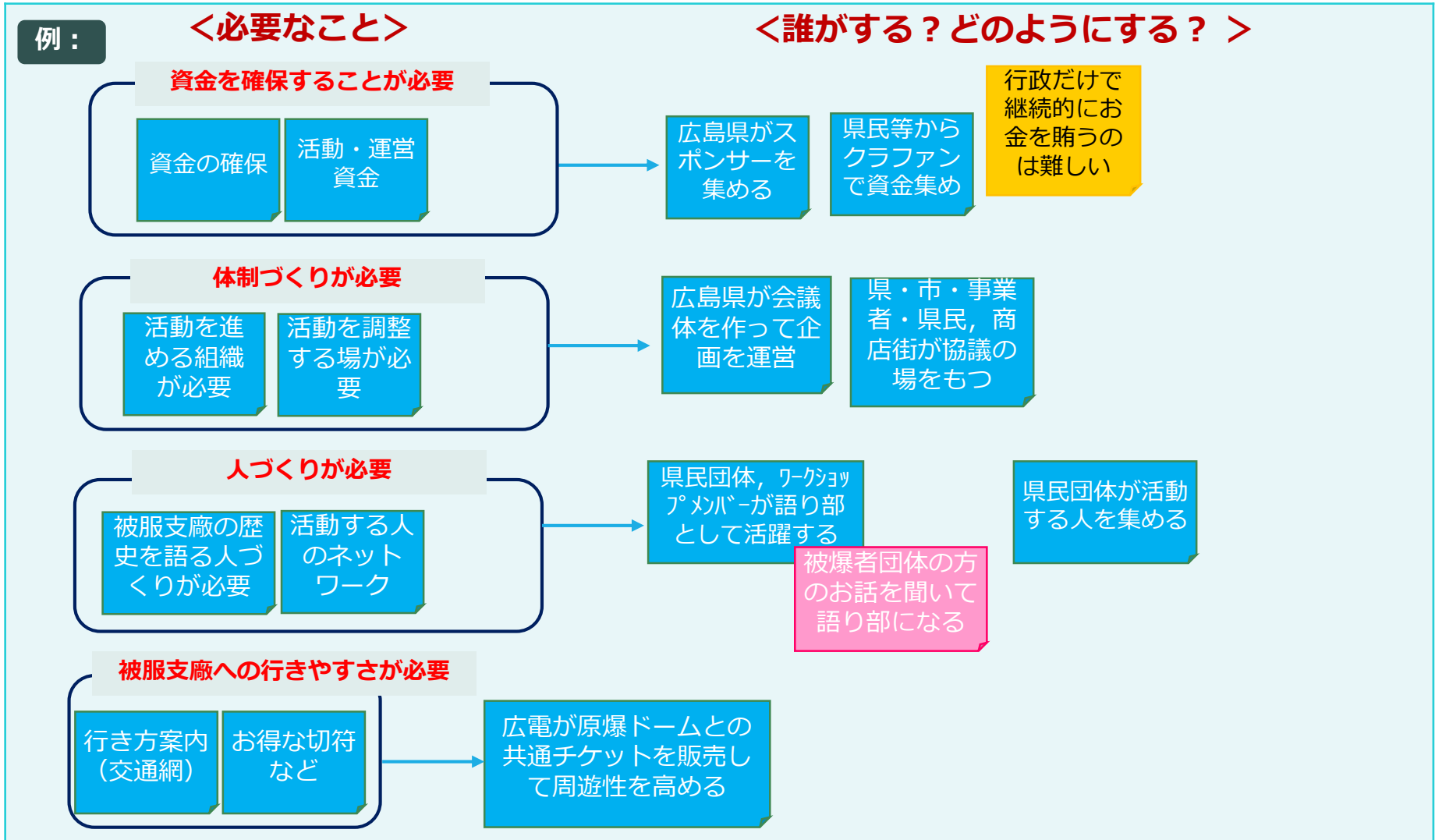
団体に被服支廠ツアーをやってもらう

被服支廠を紹介する既存のリフレットを提供したい

活用し続けるために必要なこと【木を育てるための水・光・空気・養分】



B 被服支廠の活用を進めていく上で必要となる取組は？



■今日の意見交換のルール・コツ

①自由な発想大歓迎（いままでの概念を取り払おう！）

②他人のアイデアに便乗して考えよう

③他人の発言を批判しない

禁句（言ってはいけないこと）

実現しない. 空想的だ. くだらない. わかりきっている. コストがかかる. 意味がない. 以前やって失敗した. など

④一人でしゃべり続けない（大事な時間をみんなで有効に）

各テーブルで議論を進めてください
今日は参加者の代表者に
発表いただきます！



★話し合いの結果を共有しよう（発表）

★これまでのふりかえり

★今後について

■ 自主勉のススメ

- コロナもあって、屋外活動は難しいですが、参考となる情報、会議室の提供など、みなさんの“自主勉”に必要な協力をします！

窓口(ワークショップ募集要項と同じです)

■ 広島県 経営戦略審議官 経営企画チーム (担当: 水本, 高川)

TEL: 082-513-2346 Mail: soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp

- 懇談会の概要や講演の様子など、検討の参考となる情報提供を随時、県のホームページで公開していきます。

■ (仮称) ワークショップと懇談会の集い

- ワークショップメンバーと懇談会メンバーが意見交換などを行う場として、「(仮称)ワークショップと懇談会の集い」の開催を企画しています。
- その中で、ワークショップメンバーの方から、ワークショップでの学びや意見交換を通じて考えた、自分自身でできそうなことなどについて、プレゼンテーションをしてもらえないかと考えています(4名程度:各自5分程度)。※ふりかえりアンケートで、ご希望をお聞きします
- 開催日時
令和4年11月中旬を予定
第一部:報告会 14:00~16:00
第二部:交流会 16:00~18:00

★おわりに

- アンケートにご協力をお願いします
(WEB参加の方は, “チャット” にあげたアンケートに)